

令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託(西部地区)に係る入札説明書

この入札説明書は、令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託(西部地区)について、静岡県環境衛生科学研究所が行う競争入札に参加する者(以下「入札参加者」という。)が熟知し、かつ守らねばならない事項を定めるものとする。

1 競争入札に付する事項

別記1のとおり(入札番号第13号)

2 入札参加者に必要な資格

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 静岡県の建設関連業務の委託に係る競争入札参加資格において、「土木関係建設コンサルタント」の業種について競争入札参加資格を有する者であること。又は、静岡県における一般業務委託に係る競争入札参加資格において、「調査」の営業種目について競争入札参加資格を有する者であること。
- (3) 水又は土壌中の物質の濃度に係る計量証明の事業の登録がなされていること。
- (4) 当該委託分析のできる能力を有する者であり、県内に検査室を有すること。
- (5) 静岡県の建設関連業務の委託又は一般業務委託に係る入札参加停止基準に基づく入札参加停止期間中の者でないこと。
- (6) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づく更生手続の申立てがなされている者(更生手続開始の決定を受けている者を除く。)又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続の申立てがなされている者(再生手続開始の決定を受けている者を除く。)でないこと。
- (7) 次のアからキのいずれにも該当しないこと。
 - ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に該当する団体(以下「暴力団」という。)
 - イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等(法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。))又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。)である者
 - ウ 法人の役員等(法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。)が暴力団員等である者
 - エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団の利用等をしている者
 - オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
 - カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

3 入札及び開札

- (1) 入札参加者又はその代理人は、別添契約書案、設計書等を熟覧の上、入札しなければならない。

この場合において、当該契約書案、設計書等について疑義がある場合は説明を求めることができる。ただし、入札後、契約書案、設計書等について不知又は不明を理由として異議を申し立てることはでき

ない。

- (2) 入札参加者又はその代理人は、様式第2号による入札書を直接提出しなければならない。郵送、電話、電報、ファクシミリその他の方法による入札は認めない。
- (3) 入札書及び入札に係る文書に使用する言語は日本語に限るものとし、入札金額の表示及び契約金の支払いは、日本国通貨に限るものとする。
- (4) 入札及び開札の日時並びに執行場所は、別記2のとおりとする。
- (5) 入札参加者又はその代理人は、様式第2号による入札書に次の各号に掲げる事項を記載し、提出しなければならない。
 - ア 入札金額
 - イ 入札年月日
 - ウ 入札参加者の住所、氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印
 - エ 代理人が入札する場合は、入札参加者の住所、氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、当該代理人の氏名及び押印（外国人の署名を含む）
 - オ 入札参加者は、代理人に入札させるときは、別紙様式第3号による委任状を持参させなければならない。
- (6) 入札者は、別紙様式第2号による入札書を封書に入れ密封し、その封皮に氏名（法人の場合は、その名称又は商号）及び「令和7年4月15日開札（入札）〔令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）〕の入札書在中」と記載しなければならない。
- (7) 入札者又はその代理人は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。
- (8) 入札者又はその代理人が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行することができない状態にあると認めるときには、当該入札を延期し、又はこれを中止することがある。
- (9) 入札金額は、令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）の総価とする。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- (10) 開札は、入札参加者又はその代理人が出席して行うものとする。この場合において入札参加者又はその代理人が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行う。
- (11) 入札参加者又はその代理人は、本業務委託に係る入札について他の入札参加者の代理人となることができない。
- (12) 入札参加者又はその代理人は、開札時刻後においては、開札会場に入場することはできない。
- (13) 入札参加者又はその代理人は、開札会場に入場しようとする場合は、身分証明書を提示しなければならない。なお、代理人は入札関係職員に入札権限に関する委任状を提出しなければならない。
- (14) 入札参加者又はその代理人は、特にやむを得ない事情があると認められた場合の他は、入札会場を退場することができない。
- (15) 入札会場において、次に掲げる事項に該当するものは、入札会場より退去させる。
 - ア 公正な競争の執行を妨げ、又は妨害しようとした者
 - イ 公正な価格を害し、又は不正の利益を得るために連合した者
- (16) 開札をした場合において、予定価格の制限に達した価格のないときは、直ちに再度の入札をする。

4 入札保証金及び契約保証金

入札保証金は免除する。契約保証金は要。ただし過去2か年の間に国（公社、公団を含む。）又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を数回以上にわたり締結し、これらをすべて誠実に履行している実績を有する者は免除する。

5 入札の無効

次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 競争入札の場合において公告等に示した競争入札参加者に必要な資格のない者のした入札
- (2) 入札参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印又は代理人が入札する場合の当該代理人の氏名及び押印のない入札書による入札
- (3) 入札金額の記載が不明瞭な入札書による入札
- (4) 所定の日時、場所に提出しない入札
- (5) 談合その他不正行為により入札を行ったと認められる者の入札
- (6) 同一の事項の入札について、2以上を入札した者の入札
- (7) 同一の事項の入札について、自己のほか、他人の代理人を兼ねて入札した者の入札
- (8) 同一の事項の入札について、2人以上の代理人をした者の入札
- (9) 入札者が開札までにその提示した入札書の書き換え、引き換え又は撤回をしたとき
- (10) 前各号に定めるもののほか、指示した条件に違反して入札した者の入札

6 落札者の決定

- (1) 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。
- (2) 開札の結果、落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定する。
- (3) (2)の同価の入札をした者のうち、出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定するものとする。
- (4) 開札の結果、落札となるべき入札者がいないときは、直ちに再度の入札を行う。
ただし、再度の入札において落札者がいないときは、最後の入札において最低の価格を記載した業者と協議する場合がある。
- (5) 入札執行回数は2回を限度とする。
- (6) 落札者が指定の期日までに契約を締結しないときは、落札者は当該契約の相手方となる資格を失うものとする。

7 契約書の作成

- (1) 落札者は、落札の通知を受けた日から起算して7日以内（落札者が遠隔地にある等特別の事情があるときは、指定の期日まで）に契約を締結しなければならない。
- (2) 落札者が前項の期間内に契約を締結しないときは、その落札は効力を失う。
- (3) 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書に記名して押印し、さらに契約締結権者が当該契約書の送付を受けてこれに記名して押印するものとする。
- (4) 契約書及び契約に係る文書に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

8 契約条項

別添契約書（案）のとおり

9 競争入札参加者に求められる義務

- (1) 本入札に参加を希望する者は、別記1の(5)により入札参加資格の確認を受けなければならない。
なお、期限までに申請書を提出しない者又は入札資格がないと認められた者は、本入札に参加することができない。
- (2) 入札参加資格の確認
入札参加資格の確認は、申請書及び資料の提出期限の日をもって行うものとし、その結果は令和7年4月11日（金）までに通知する。

10 その他

- (1) 契約書案及び入札に関する質疑、確認等は、別紙様式第4号質問票により令和7年4月9日（水）午後4時までにファクシミリ又は電子メールで行うこと。なお、電話による照会には応じない。
照会先 ファクシミリ送信先 静岡県環境衛生科学研究所総務企画課 054-625-9121
電子メール送信先 静岡県環境衛生科学研究所総務企画課 kanki@pref.shizuoka.lg.jp
- (2) 本件入札の事項その他に関し疑義がある場合は、関係職員に説明を求め、内容を十分承知しておくこと。入札後、不明な点があったことを理由として異議を申し立てることはできない。
- (3) 入札参加者は、開札日の前日までの間において、契約担当者又は入札執行者から業務の履行について説明を求められた場合は、それに応ずる義務を負うものとする。なお、説明義務を履行しない者の入札書は入札の対象としない。
- (4) 本業務委託の入札に関して要したすべての費用については、入札参加者の負担とする。
- (5) 落札者は、本契約を締結するに当たり、労働関係法令を遵守する旨等を記載した誓約書を提出すること。また本契約に基づく業務の一部を他の者に行わせ、又は当該業務に派遣労働者を関わらせようとするときは、全ての下請負者から労働関係法令を遵守する旨等を記載した誓約書を提出させ、その写しを契約担当者に提出すること。

別記

1 競争入札に付する事項

- (1) 委託業務名 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託(西部地区)
- (2) 業務概要 公共用水域水質測定調査分析
- (3) 業務期間 契約日から令和8年3月31日まで
- (4) 契約締結日 落札日から起算して7日以内
- (5) 提出資料の受領期限及び提出場所

ア 受領期限 令和7年4月9日(水)午後4時

イ 提出場所 郵便番号 426-0083

所在地 静岡県藤枝市谷稲葉232番地の1

機関名 静岡県環境衛生科学研究所 総務企画課

電話番号 054-625-9121

ウ 提出書類

- (ア) 入札参加資格確認申請書(様式第1号)
- (イ) 静岡県の建設業関連業務(業種:土木関係建設コンサルタント)又は一般業務委託(営業種目:調査)に係る競争入札参加資格審査結果通知書の写し
- (ロ) 濃度に係る計量証明事業登録証の写し
- (ハ) 契約実績申告書兼誓約書(様式第5号)

2 入札及び開札

日時 令和7年4月15日(火)午前10時40分

場所 静岡県環境衛生科学研究所 4階会議室

郵便番号 426-0083

所在地 静岡県藤枝市谷稲葉232番地の1

機関名 静岡県環境衛生科学研究所 総務企画課

電話番号 054-625-9121

入札参加資格確認申請書

令和 年 月 日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

住 所

商号又は名称

代表者職氏名

㊞

下記の一般競争入札に参加する資格について確認されたく、関係書類を添えて申請
します。

なお、入札説明書2に定める入札参加者に必要な資格のすべてを満たす者であるこ
とを誓約します。

記

- 1 公告日 令和7年4月4日
- 2 契約名称 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）

第2号（用紙日本産業規格A4縦型）

入札書

入札番号 第13号

件名 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）

上記の委託について、「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）」に係る入札説明書を承諾の上、入札いたします。

入札金額	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(税抜き)

令和7年4月15日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

入札者	住所	
	商号又は名称	
	氏名	印
	代理人	
	氏名	印

入札書 記載例

入札番号 第13号

件名 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）

上記の委託について、「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）」に係る入札説明書を承諾の上、入札いたします。

¥マークを記入									
	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円
入札金額	¥								

~~~~~(税抜き)~~~~~

令和7年4月15日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

**委任の場合、押印は不要です**

|     |        |                                                                                             |
|-----|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 住 所    | 静岡市〇〇区〇〇町1-2-3                                                                              |
| 入札者 | 商号又は名称 | 株式会社 静岡                                                                                     |
|     | 氏 名    | 代表取締役 駿河 一郎 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span> |
|     | 代 理 人  |                                                                                             |
|     | 氏 名    | 静岡 太郎 <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>       |

**※委任の場合は、代理人の記名と押印が必要です**



# 委任状

|       |
|-------|
| 代理人の印 |
|       |

私は、 \_\_\_\_\_ を代理人と定め、下記事項を処理する  
一切の権限を委任します。

## 記

委任事項      静岡県環境衛生科学研究所      における  
令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）の入札について

委任期日      令和7年4月15日

令和7年4月15日

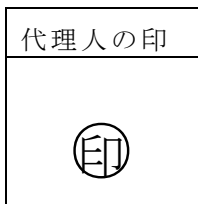
住      所

（委任者）商号又は名称

印

# 委任状 記載例

私は、静岡太郎  
一切の権限を委任します。



を代理人と定め、下記事項を処理する

## 記

委任事項 静岡県環境衛生科学研究所 における  
令和7年度 公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）の入札について

委任期日 令和7年4月15日

令和7年4月15日

住所 静岡市〇〇区〇〇町1-2-3  
(委任者) 商号又は名称 株式会社 静岡  
代表取締役 駿河 一郎 印

# 質 問 票

令和 年 月 日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

業者名

印

業務名 令和7年度 公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）

| 表 題  |  |
|------|--|
| 質問事項 |  |

※ 質問はできるだけ簡潔に記載すること。

※ 質問一つにつき、上記様式一つを使用すること。

# 契約実績申告書 兼 誓約書

令和 年 月 日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

商号又は名称

代表者職氏名

印

次の 1 または 2 のいずれかを丸囲みしてください。

## 1 実績がない

過去 2 か年における国（公社、公団を含む。）又は地方公共団体等を相手方とした種類及び規模をほぼ同じとする契約実績はありませんが、落札した時は、契約日までに契約保証金（契約金額の 10/100 以上）を払い込み、業務を誠実に履行することを誓約します。

## 2 契約実績がある

過去 2 か年において、国（公社、公団を含む。）又は地方公共団体等を相手方とした種類及び規模をほぼ同じとする契約実績は以下のとおりであり、これらをすべて誠実に履行したことを申告します。また、記載の内容については事実と相違ないことを誓約します。

| 契約相手方 | 契約名 | 契約期間               | 契約金額 |
|-------|-----|--------------------|------|
|       |     | 年 月 日から<br>年 月 日まで | 円    |
|       |     | 年 月 日から<br>年 月 日まで | 円    |
|       |     | 年 月 日から<br>年 月 日まで | 円    |

※契約内容を表に記載すること

## 競争契約入札心得書

(趣旨)

第1条 この心得は、今回の委託業務について、静岡県が行う競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）が守らなければならない事項を定めるものとする。

(入札の基本的事項)

第2条 入札参加者は、仕様書、設計書、図面及び見本その他契約締結に必要な条件を熟知の上、入札しなければならない。この場合において、仕様書、設計書、図面及び見本等について疑義があるときは、関係職員の説明を求めることができる。

(公正な入札の確保)

第3条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

(入札)

第4条 入札書は、入札説明書に示された様式により作成し、公告で告知した日時及び場所において、提出しなければならない。

2 入札参加者は、代理人に入札させるときは、入札説明書に示された委任状を持参させなければならない。

(入札書の書換等の禁止)

第5条 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(入札の中止等)

第6条 開札前において、天災、地変その他やむを得ない理由が生じたときは、入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

(開札)

第7条 開札は、入札説明書に記載した開札場所において行う。

(入札の無効)

第8条 次の各号の一に該当する入札は無効とする。

- (1) 入札に参加する資格を有しない者のした入札
- (2) 入札保証金が所定の額に不足する者のした入札
- (3) 委任状を持参しない代理人のした入札
- (4) 所定の日時、場所に提出しない入札
- (5) 記名押印を欠く入札
- (6) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- (7) 入札金額を訂正した入札
- (8) 談合その他不正行為により入札を行ったと認められる者の入札
- (9) 同一事項の入札について、2以上を入札した者の入札
- (10) 同一事項の入札について、自己のほか、他人の代理人を兼ねて入札した者の入札
- (11) 同一事項の入札について、2人以上の代理人をした者の入札
- (12) 前各号に定めるもののほか、指示した条件に違反して入札した者の入札

(落札者の決定)

第9条 予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札し、入札説明書に示した条件を満たした者を落札者とする。

(再度入札)

第10条 開札した場合において、落札者とすべき入札がないときは、再度の入札を行う。

2 第8条第1号から第4号及び第8号から第11号までの規定に基づき無効とされた入札をした者は、再度入札に参加させることができない。

3 再度入札において入札参加を辞退しようとする者は、入札書に「辞退」の記入をし、入札時に入札

箱へ投函すること。

(同価格の入札者が2人以上ある場合の落札者の決定)

第11条 落札者となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札をした者に、くじを引かせて落札者を決める。

2 前項の場合において、当該入札をした者のうち、くじを引かない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のない県職員にくじを引かせる。

(入札結果の通知)

第12条 開札をした場合において、落札者があるときは、その者の氏名又は名称及び金額を、落札者がいないときはその旨を入札者に直ちに口頭で知らせる。

(契約の締結)

第13条 落札者は、落札の通知を受けた日から起算して7日以内に、契約書を作成して契約を締結しなければならない。ただし、契約担当者がやむを得ない理由があると認める場合は、その期間を延長することができる。

2 落札者が、前項の期間内に契約を締結しないときは、その落札は、効力を失なう。

3 前項の場合において、入札保証金を免除された者は、免除された入札保証金に相当する額の違約金を納付しなければならない。

(契約の確定)

第14条 契約書を作成する契約にあつては、契約当事者双方が記名押印したときに確定する。ただし、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年静岡県条例第18号）に定める契約については、議会の議決があつたときに当該契約が成立する。

(契約保証金)

第15条 落札者は、契約金額の100分の10以上の契約保証金を契約締結の際納付しなければならない。ただし、次の各号に掲げる場合においては、契約保証金の全部又は一部の納付を要しない。

(1) 落札者が、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を結んだとき。

(2) 公告に契約保証金の全部又は一部の納付を要しないものとされたとき。

(異議の申立)

第16条 入札した者は、入札後、この心得、仕様書、設計書、図面、見本及び契約書式についての不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(準用)

第17条 この規定は、随意契約について準用する。

## 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）契約書

静岡県環境衛生科学研究所(以下「甲」という。)と●●●(以下「乙」という。)との間に、次のとおり委託契約を締結する。

(目的)

第1条 甲は、甲が別に定める「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）実施要領」（以下「要領」という。）に定める業務（以下「委託業務」という。）の処理を乙に委託し、乙は、これを受託する。

(委託期間)

第2条 委託期間は、令和7年4月 日から令和8年3月31日までとする。

(委託費)

第3条 甲は、乙に対し委託業務を処理するための費用（以下「委託費」という。）として、金●●●円（うち消費税及び地方消費税の額●●●円）を支払うものとする。

(支払方法)

第4条 乙は、委託費を委託業務終了後請求するものとし、甲は、請求書を受理した日から30日以内に支払うものとする。

(契約の変更)

第5条 甲又は乙は、この契約を変更しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

(権利義務の譲渡等の禁止)

第6条 乙は、第三者に対し、委託業務の全部若しくは一部の実施を委託し、若しくは請け負わせ、又はこの契約に基づいて生じる権利義務を譲渡してはならない。ただし、書面により甲の承認を受けた場合は、この限りでない。

(契約の解除)

第7条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲は、次のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

- (1) 乙が委託期間内に委託業務を履行しないとき、又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- (2) 甲がこの契約について不正の事実を発見したとき。
- (3) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。
- (4) 乙が法令等又は契約に違反したとき。
- (5) この契約締結後の事情の変化により委託業務を処理させる必要がなくなったとき。
- (6) 契約の履行の全部が不能であるとき又は全部の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。
- (7) 契約の履行の一部が不能であるとき又は一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する部分のみでは契約した目的を達することができないとき。
- (8) 乙が次のアからキのいずれかに該当する者であるとき。
  - ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2項に該当する団体（以下「暴力団」という。）
  - イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。）以下同じ。）である者
  - ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員

以外の者をいう。)が暴力団員等である者  
エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者  
オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者  
カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者  
キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者  
(損害賠償責任)

第8条 乙は、次のいずれかに該当したときは、直ちにその損害を被害者に賠償しなければならない。

- (1) 乙が委託業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。
- (2) 前条第2項の規定によりこの契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。

2 乙は、前条第2項の規定による契約の解除により損害を受けた場合において、甲に対し、その損害の賠償を請求することができない。

(委託業務実施計画書等の提出)

第9条 乙は、この契約の締結後10日以内に要領に定める委託業務実施計画書を甲に提出し、承認を受けなければならない。

(処理状況の報告等)

第10条 甲は、必要があると認めるときは、委託業務の処理状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

(委託業務実績報告書等の提出)

第11条 乙は、委託業務が終了したときは、要領に定める委託業務実績報告書を委託業務が終了した日から10日以内あるいは令和7年3月31日のいずれか早い期日までに甲に提出しなければならない。

(委託費の処理)

第12条 甲又は乙が第7条の規定によりこの契約を解除した場合の委託費の処理は、甲が認める既履行部分に相当する金額をもって精算し、その引渡しを受けることができる。

(著作権の帰属)

第13条 この契約に基づき作成された成果物の著作権は、甲に帰属するものとする。

(合意管轄)

第14条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(業務遂行上の留意事項)

第15条 乙は、委託業務のうち採水業務等を行うにあたり、道路交通法等を遵守したうえで実施しなければならない。

(定めのない事項の処理)

第16条 この契約に定めるもののほか、必要な事項については、甲、乙協議の上、決定するものとする。



上記の契約の成立を証するため、この契約書2通を作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を所持する。

令和7年4月 日

(甲) 静岡県藤枝市谷稲葉232番の1  
静岡県環境衛生科学研究所  
所 長 横井 志伸

(乙) ●●●

## 令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）実施要領

静岡県環境衛生科学研究所を委託者（以下「甲」という。）とし、●●●●●●●●を受託者（以下「乙」という。）として、令和7年●月●日付けで締結した「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）」については、契約書に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

### 第1 契約書第1条の委託業務の内容

- (1) 水質調査は原則として「水質調査方法（昭和46年9月30日環水管第30号環境保全局長）」により実施することとする。
- (2) 測定地点、測定項目、測定月、採水回数、採水位置は、別表1及び別図のとおりとする。
- (3) 現地調査時には、採水日、採水時刻、天候、気温、水温のほか、下記項目についても調査し報告するものとする。

#### ア 河川…透視度、色相、臭気、流量

ただし、流量は別表1の4月、5月、8月、10月、12月、2月の測定月の河川でのみ実施する。

河川の調査地点については、年1回（4月または5月の調査時）の調査状況写真を結果報告時に添付すること（電子データ可）。

#### イ 海域…透明度

#### ウ 湖沼…透明度、全水深、色相、臭気

- (4) 採水日は、降雨等の影響がなく水質状態が安定している日を選び、さらにできる限り測定地点ごと定期性に配慮して実施すること。
- (5) 測定方法は、別表2に掲げる方法によるものとする。  
なお、海域の塩素イオンについてはサリノメーターの使用も可能とする。
- (6) 第三者への委託は基本的に認めないが（契約書第6条）、特殊な分析機器を必要とするLAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）については、計量証明事業者への外注による分析を認めるものとする。  
なお、外注を行う場合には、書面により甲の承認を受けるものとする。

### 第2 異常時の措置等

調査時において、異常な濁水又は著しい水質汚濁等が認められた場合は直ちに甲に連絡し指示を受け、再調査及び確認調査等を行うこと。また、船舶を使用する海域調査において、荒天等の理由で計画月の調査が困難になった場合は事前に甲に書面連絡し指示を受け、翌月に調査を順延することも可能とする。

### 第3 測定結果の報告

- (1) 報告下限値、コード等は別表2～別表7によるものとする。
- (2) 測定結果の報告については、翌月の10日までに甲に計量証明書及び指定様式により報告するものとする。報告は、1部を静岡県環境衛生科学研究所大気水質部へ、写し1部を静岡県くらし・環境部環境局生活環境課へ送付することによる。

### 第4 環境基準値超過等が認められた場合の措置

- (1) 水質汚濁に係る環境基準の内「人の健康の保護に関する環境基準」の項目に基準値超過が認められた場合は直ちに甲に連絡し、再調査の指示を仰ぐとともに、確認調査等を行うこと。
- (2) 水質汚濁に係る環境基準の内「生活環境の保全に関する環境基準」の項目に基準値超過が認められた場合は、速やかに甲に連絡するとともに調査時の状況及び超過の原因と推定される事項等を測定結果と併せ報告すること。
- (3) 水質汚濁に係る環境基準以外の項目の測定値が通常と著しく異なる場合は速やかに甲に連絡すること。

### 第5 記録の保存

調査結果を記録した野帳、チャート及び分析結果を記録した書類等は、委託業務終了後5年間保存するものとする。

### 第6 精度管理

分析にあたっては、常に分析精度の確保に努め、委託業務に関する精度管理計画書を提出するものとする。

### 第7 立入検査等

甲は調査分析の実施状況を確認するために、現地調査への同行及び乙の分析室への立入検査を行うことができる。その際乙は、甲が行う検査に協力しなければならない。

### 第8 定めのない事項

この要領に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、甲と乙が協議の上決定する。

### 第9 様式

委託業務に関する書類の様式は、次のとおりとする。

- (1) 契約書第9条の委託業務実施計画書及び第11条の委託業務実績報告書  
(様式第1号)

- (2) 要領第 3 (2) に規定する報告 (様式第 2 号、エクセル形式でデータフォーマットしたファイルへの入力及び打出し)
- (3) 要領第 4 (1) に規定する報告書 (様式第 3、5、6 号)
- (4) 要領第 4 (2) に規定する報告書 (様式第 4、6 号)

令和 年 月 日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

所在地

名 称

代表者

㊟

委託契約に基づく関係書類の提出について

令和7年 月 日付けで締結した「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）契約書」第9条（第11条）に定める委託業務実施計画書（委託業務実績報告書）を別紙のとおり提出します。

記

（別紙）

- 1 委託業務実施計画書（様式第1号-1）
- 2 委託業務実績報告書（様式第1号-2）

（注）要領に定める項目について、必要最低限度の内容を箇条書きで記載する。

様式第1号-1

令和7年度 水質測定実施計画書（西部地区）

| 水域          | 河川名 | 測定点 | 5月       | 6月       | 7月       | 8月       | ・・・ | 備考 |
|-------------|-----|-----|----------|----------|----------|----------|-----|----|
| （例）<br>伊豆水域 | 河津川 | 館橋  | 5/20     | 6/20     | 7/20     | 8/20     | ・・・ |    |
|             |     |     | 又は<br>5下 | 又は<br>6下 | 又は<br>7下 | 又は<br>8下 |     |    |
|             | ○○  | ××  |          |          |          |          |     |    |
|             | ・   | ・   |          |          |          |          |     |    |
|             | ・   | ・   |          |          |          |          |     |    |
|             | ・   | ・   |          |          |          |          |     |    |

様式第1号-2

令和7年度 水質測定実績報告書（西部地区）

| 水域          | 河川名 | 測定点 | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | ・・・ | 備考 |
|-------------|-----|-----|------|------|------|------|-----|----|
| （例）<br>伊豆水域 | 河津川 | 館橋  | 5/20 | 6/20 | 7/20 | 8/20 | ・・・ |    |
|             | ○○  | ××  |      |      |      |      |     |    |
|             | ・   | ・   |      |      |      |      |     |    |
|             | ・   | ・   |      |      |      |      |     |    |
|             | ・   | ・   |      |      |      |      |     |    |

（注）様式に示す各項目の記載があれば、それを利用してもよい。

なお、その場合には表題を入れること。

令和 年 月 日

静岡県環境衛生科学研究所長 様

所在地

名 称

代表者

印

委託契約に基づく測定結果の報告について

「令和7年度公共用水域水質測定調査委託（西部地区）契約書」第1条に規定する「令和7年度公共用水域水質測定調査分析委託（西部地区）実施要領」に基づき令和 年 月の測定結果を下記のとおり報告します。

記

1 測定結果

計量証明書

指定様式

（エクセル形式でデータフォーマットしたファイルへの入力及び打出し）

2 環境基準超過の有無

健康項目での超過の有無 （ 有 ・ 無 ）

（基準超過有りの場合は様式第3号及び第6号を添付のこと）

生活環境項目での超過の有無 （ 有 ・ 無 ）

（基準超過有りの場合は様式第4号及び第6号を添付のこと）

3 健康項目の報告下限値超過の有無 （ 有 ・ 無 ）

（下限値超過有りの場合は様式第5号を添付のこと）

様式第3号

健康項目の環境基準基準値超過について

| 区分 | 地点名 | 採水年月日 | 測定機関 | 測定項目名 | 環境基準値 | 測定値 |
|----|-----|-------|------|-------|-------|-----|
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |

様式第4号

生活環境項目の環境基準基準値超過について

| 区分 | 地点名 | 採水年月日 | 測定機関 | 測定項目名 | 環境基準値 | 測定値 |
|----|-----|-------|------|-------|-------|-----|
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |

様式第5号

健康項目の報告下限値超過について

| 区分 | 地点名 | 採水年月日 | 測定機関 | 測定項目名 | 環境基準値 | 測定値 |
|----|-----|-------|------|-------|-------|-----|
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |
|    |     |       |      |       |       |     |



公共用水域の環境基準基準値超過について

|            |                                             |  |
|------------|---------------------------------------------|--|
| 地名         |                                             |  |
| 採水年月日      |                                             |  |
| 測定機関       |                                             |  |
| 類型         |                                             |  |
| 環境基準値      |                                             |  |
| 測定値        |                                             |  |
| 天候         |                                             |  |
| 気温         |                                             |  |
| 水温         |                                             |  |
| 臭気等        |                                             |  |
| 透視(透明)度    |                                             |  |
| 水域の状況及び原因等 | (例) 流量の影響<br>干満潮の影響<br>降雨の影響<br>プラクトンの異常発生等 |  |